

消費生活協同組合(連合会)等に対する厚生労働大臣表彰式

表彰式は、10月24日に厚生労働省・低層棟2階講堂で行なわれました。消費生活協同組合(連合会)27組合、役員25人が受賞しました。

個人表彰として、和歌山県生活協同組合連合会元会長理事・尾添仁氏が受賞されました。



今後の県連活動

2013年度 福祉活動交流会

- 日 時：2014年2月19日(水) 13:30~15:30 (現地集合)
- 場 所：紀の国医療生活協同組合
- 参加対象：役員及び、福祉事業や福祉活動に関わっている職員

県内一斉クリーンウォーク

- 日 時：2014年3月1日(土) 午前10時より (予備日：2014年3月2日(日))
- 主 催 者：JAグループ和歌山

昨年に引き続き、和歌山県農業協同組合中央会より協同組合組織連絡会に参加の依頼があり、その趣旨に賛同し、県生協連として参加します。自分たちの身近な地域を探索しながら地域の美化活動に取り組みましょう。

※詳しくは、別途案内させていただきます。



平成26年1月
和歌山県消費生活センター発行
抜粋より

ホットな消費者ニュース Vol.19

ネットでの中古車購入は慎重に!!の巻



イラスト作成/鈴木 薫

ネットでの中古車購入は慎重に!!の巻

中古車は信頼のおける業者選びと実物確認が重要! ~ネットからの情報だけに頼らず、現地へ行くなどしてできるだけ実物を確認してから契約しよう~

●車はクーリング・オフできません! 契約は慎重に!!

- ◇和歌山県消費生活センター
和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F
電話：073-433-1551 FAX：073-433-3904
(月~金)9:00~17:00 (土・日)10:00~16:00 (電話相談のみ)
祝日・年末年始を除く
- ◇和歌山県消費生活センター紀南支所
田辺市朝日ヶ丘23番1号 県西牟婁総合庁舎内
電話：0739-24-0999 FAX：0739-26-7943
(月~金)9:00~17:00

和歌山県生活協同組合連合会

和歌山中央医療生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合・わかやま市民生活協同組合
紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・高野山大学生生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合
和歌山高齢者生活協同組合・泉南生活協同組合・日鉄住金和歌山生活協同組合・生活協同組合コープ自然派和歌山

和歌山県

生協連ニュース

No.2

和歌山県生活協同組合連合会

〒640-8323 和歌山市太田三丁目10番10号 わかやま市民生協気付
TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649

和歌山県生協連

検索

<http://www.wakayamakenren.jp/>

明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

12月4日「第23回和歌山県生協大会」開催

~くらし、文化の向上で平和なすみよい和歌山をめざして~

第23回和歌山県生協大会を、12月4日わかやま市民生協組合員ホールで開催しました。会員生協から70人の参加がありました。来賓には9団体9人の参加がありました。

生協大会は、一部：式典、二部：記念講演の構成ですすめました。

(会員生協参加人数)

医療生協9人、市民生協34人、全労済5人、日鉄住金2人、泉南1人、学校生協4人、高齢者5人、紀の国8人、自然派2人 計70人

第一部の式典では、ご来賓祝辞・永年勤続表彰・大会アピール確認を行いました。

ご来賓ご挨拶

当日お越しのご来賓を代表して、和歌山県環境生活部県民局局長・山崎良彦様、和歌山県農業協同組合中央会専務理事・山崎龍平様、公益社団法人和歌山県労働者福祉協議会常務理事・池永謙様より、県連の活動に対する評価と、今後も協同組合の価値や役割を地域社会に広げて下さいとのご挨拶がありました。

祝電・メッセージを各団体から7通いただきました。

永年勤続表彰

会員生協において通算20年以上勤務された4生協6人の方々の功勞に対し、上田会長理事から表彰状と記念品を贈呈しました。

和歌山中央医療生活協同組合

笹内 紀代さん 林 結花さん

わかやま市民生活協同組合

岡村 愛一郎さん 平林 伸木さん

和歌山県労働者共済生活協同組合

川瀧 英樹さん

日鉄住金和歌山生活協同組合

数中 美枝さん



大会アピール

池田香弥さん（和歌山高齢者生協）が、大会アピール案を提案し、参加者全員の拍手で確認しました。

【大会アピール(全文)】

第23回和歌山県生協大会にお集まりのみなさん、私たち生協がこれまですすめてきたとりくみは、購買事業から医療・福祉・くらしの保障などの事業活動はもとより、食の安全や食育、消費者行政、災害や平和・環境問題、団塊世代が活躍できる場の提供やコミュニティの育成などあらゆる社会分野でのとりくみにまで広がっています。組合員数においても県下のべ27万3千世帯を有する組織に発展しました。

昨年2012年は、国連が定めた「国際協同組合年（IYC）」のとりくみとして、広く協同組合の存在価値を高める活動をすすめました。さらに国際協同組合同盟（ICA）は、協同組合の社会的存在価値を次世代につなげる活動を継続するために、2013年以降もポスト協同組合年と位置づけました。今後も、これまで以上に協同組合間の連帯を強化し、社会に、そして和歌山県民にその社会的役割を発揮するとともにその存在価値を広くアピールしましょう。

私たち生協が、今後さらに発展していく上においても、県連に加盟する生協間の連携が大切です。この大会を機に再確認し、県連活動をととして今後さらに交流を深めていきましょう。

第23回和歌山県生協大会

和歌山県生活協同組合連合会 後援/和歌山県



2013年12月4日

和歌山県生活協同組合連合会
第23回 和歌山県生協大会

第二部は、講演テーマ：ポスト国際協同組合年「次世代につなぐ生協」

現在は、親子をつなぐ学びのスペース「リレイト」代表の中桐万里子さんにご講演をいただきました。66人が参加しました。

現実に直面する困難。私たちは見返り思想の Give and Take ではない Take and Give の思想に転換しよう。厳しい現実をよく見、既に私たちが与えられていること、モノにこめられた徳に思いを寄せ、幸せであることに気付くことが大切です。そして、各々の与えられた持場、現場において、力を発揮し実践し与えることが、もらった恩に報いることであり、つながる協同の考え方である。3.11からの復興において私たちは無力だったという人がいる。違う、私たちは無知だったといたいと述べられました。



活動紹介

9月15日：県生協連役職員交流会（ボウリング大会）

9月15日（日）、会員生協の役職員交流の一環として、ボウリング大会を開催し27チーム108人が参加し「ろうさいチーム（全労済）」が団体1位となり盛り上がり、日頃の運動不足の解消と会員生協間の親睦を深め合う取り組みとなりました。



9月30日：2014年度 和歌山県行政への要望書提出

県政の充実強化につながる施策提案や連携、予算要求、会員生協の事業・運営に関する支援と理解促進を目的に2014年度和歌山県行政への要望書を和歌山県環境生活部・塩崎部長に上田会長理事から手渡しました。



10月13日：第33回 生協まつり参加

10月13日（日）、和歌山城、砂の丸・西の丸広場で第33回生協まつりが開催され、多くの家族連れで賑わいました。県生協連は、生協まつりを後援するとともに、県農協中央会、県漁連、県森連と協力し協同組合組織連絡会としてコーナー出店しました。



- 県農協中央会：柿・みかん販売
- 県 漁 連：マグロコロッケ販売
- 県 森 連：間伐材などを使った箸づくり
- 県 生 協 連：東北支援物品販売



和歌山県災害ボランティアセンター 取り組みへの参加

平成25年度 御坊市地域防災力向上事業（防災ぶるる）

9月29日（日）野口小学校、10月27日（日）御坊小学校で開催し、県連1人、わかやま市民生協から6人が参加しました。

防災に取り組んでいる団体や機関が設けたブースで、さまざまな体験を通して防災について考える機会となりました。各ブースでは、防災用品やパネル等の展示、初期消火体験、煙体験、起震車体験、災害従事車両等の展示、非常食の試食などがありました。



平成25年度 橋本・伊都災害ボランティアセンター設置運営訓練

12月7日（土）に高野山中学校で開催し、県連1人、わかやま市民生協から3人が参加しました。

訓練は、高野山で災害が発生しボランティアセンターが設置され被災者想定者宅訪問班としての活動の流れを経験しました。